

## 谷原小学校・十和小学校の統合に係る説明会

《 令和3年10月23日（土）午前10時30分から午前11時40分 市役所谷和原庁舎 会議室 》

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 事務局紹介
- 5 説明
- 6 質疑応答

事務局	:	(事務局説明)
司会	:	以上で説明が終了いたしました。続きまして、質疑応答に移ります。今回の説明につきまして、ご質問やご意見がある方は挙手をお願いいたします。
市民 1	:	統合準備委員会について伺います。メンバーというのは、現在、PTA 役員をやられている方々が中心になるのでしょうか、それとも募集されるということでしょうか。また、決定事項について、全体の保護者に対して、アンケート等を実施していただけるのでしょうか。それとも統合準備委員会のメンバーのみで決定してしまうのでしょうか。
適正配置 推進室長	:	統合準備委員会に関しましては、市の要綱がございます。要綱によりますと、構成員は、教職員の方、PTA の関係者の方、地域住民の中から委嘱されるということになっております。当然、PTA の代表の方には入っていただきますが、統合準備委員会、検討部会の協議の中で、全保護者にアンケートを取る必要があると判断される場合もあると思います。
市民 2	:	先ほど、福岡小学校が（今回の統合から）外れていることはご説明を伺ったんですけど、福岡小学校では複式学級が発生するという事は可能性としてあるのでしょうか。あと、今、谷原小学校と十和小学校の統合というのはあくまでも部分的なものだと、全体としても計画が進んでいますよ。と言われているんですけど、その全体の計画というのは、いつまでに、なにをやるかというのは、どの程度、具体的に決まっているのか、教えていただければと思います。
適正配置 推進室長	:	福岡小学校につきましては、教育委員会独自に実施した、令和17年度までの人口推計では、複式学級が発生するという事は見込まれておりません。 あわせて、市の全体計画について、現在、教育委員会適正配置推進室において、十分な検討をしているところがございますが、検討にあたりまして、適正配置審議会を行いまして、そちらからのお答えをいただいております。将来的に、10年、20年先の小学校数に関しては、陽光台小学校を含めた、旧伊奈地区で3校。富士見ヶ丘小学校を含めた、旧谷和原地区で2校。全体で小学校5校が望ましいという答

		申をいただいております。中学校に関しては、将来的には、2～3校が望ましいという答申をいただいております。こちらを踏まえ、教育委員会で検討していくところでございます。決まり次第、説明会等を開かせていただいて、皆様にお示したいと思っております。よろしくお願いいたします。
市民 3	:	疑問に思っただけで教えてほしいんですけど、谷原小学校の予測数値で人数があまり変わっていない数値表だと。実際は、もっと右肩下がりに感じますが、この推移の減少率のようなものは考慮されていますか。
適正配置 推進室長	:	人口推計については、現在の住民基本台帳とあわせて、専門のコンサルティング業者に委託しており、将来的な予測も入った中で、算出したところでございます。
市民 1	:	いま、学級数推計のグラフを拝見して、谷原小学校と十和小学校が統合した場合はこのグラフ通り、令和17年度までは、この学校は継続して存在すると考えてよろしいでしょうか。それとも、途中で推計上の予測と反してさらに児童が少なくなった場合は、途中でさらに令和17年度を待たずに、統合とか、大きなところに吸収されるとか、そういう予定は検討されているのでしょうか。
適正配置 推進室長	:	<p>今回の谷原小学校と十和小学校の統合はあくまでも、複式学級の解消のためです。それと同時並行で市の全体計画で将来的な小学校数を検討しているのですが、教育委員会としては、文部科学省が推奨しております、標準規模校というところを目指していかなければいけないと考えております。標準規模校の基準は1学年2学級以上となっておりますので、ここをめざして、計画づくりをしているところです。</p> <p>今回、谷原小学校と十和小学校の統合に向けて、動いておりますが、それで終了かといわれますと、そのようなことはない、今のところは考えております。全体計画のなかで、大きい学校に吸収するのか、どこかと統合するのかというところは、地域住民の皆様、保護者の皆様の声を十分に聞きながら、検討していきたいと考えております。</p> <p>補足でございますが、今回、谷原小学校と十和小学校は令和5年4月に向けて統合を進めております。それに伴い、統合を経験した児童が、再度、在学中に統合を経験することがないように、令和9年度までは統合しないように配慮いたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
市長	:	<p>こういうことははっきり言わなければいけないと私は思っています。曖昧な答えをして、期待を持たせるようなことはしてはいけないと思っておりますので、私たちの今、考えていることをはっきり言いますが、将来的には統合はあります。このままいくと、間違いなく。小絹も減ってきています。小絹地区は辛うじて、筒戸地区に新しく家を建てている人たちがいるので、横ばいを保っているような状況です。ただ、市内の小学校を見ていくと、増える可能性があるのは、富士見ヶ丘小学校と陽光台小学校だけなんです。当然、谷原小学校と十和小学校が統合したからといって、このまま人数が増えていくというようなことはないと思っております。</p> <p>ですから、私たち、行政がやらなければならないことは、この地区の子供たちを減らさないこと、増やすことは難しいと考えています。どうしてかという、家を建てられるところが少ないからです。ハザードマップで浸水指定区域に、伊奈地区も</p>

		<p>谷和原地区も田んぼのところは出ておりますから、そこに人を住ませるような方策をとっていかねばいけないうと、国はそうは考えていませんから、だんだん高台に移転していくということになると思います。</p> <p>そう考えたときに、この小学校をどうやって存続していくか、イコール、人をどうやって減らさないか。どうするかという、他から人を呼ぶしかない。他の学校から人に来てもらうしかない。こういったところを市内全体で考えていかないと、どこの地区の学校も本当になくなってしまわないか、ということを私は心配しております。今、統合はしますけれども、将来的に何もしなければ統合はさらに進むということ。そこに行かないために、私たちは当然、知恵を出さなければいけないのです。</p> <p>地域の皆さんにも協力をしていただいて、どうやって谷和原地区と十和地区と一緒に頑張っていくかということ、市内全体の地区で、学校のことだけではなく、学校を減らさないということは、どういうことをやらなければならないのか、ということ、私たちは常に考えていかねばいけないうと考えております。</p> <p>このままではやはり、皆様が想像するような結果、将来になってしまう。しかし、それだけは防ぎたいと考えております。</p>
市民 1	:	<p>マンモス校が必ずしも良いとは考えてないですし、それを増やしていただくのはすごく困るんですね。マンモス校に馴染めない子どもたちもたくさんいますので。学校数を減らしたくないというお考えならば、地域住民を増やす土地がないという現実もわかっていらっしゃるのであれば、例えば、学校を選択制にするとか、学校見学を行って、スクールバスを配置するとか、学校を選択制にするというのも1つの案だと思うのですが、そういうことは全く考えていらっしゃらないのでしょうか。学校をもう1つ作るよりも、安いコストで、運営できると思うのですが、その点はいかがでしょう。</p>
市長	:	<p>選択制にするというのは1つの案としてあると思います。ただ、現状の市内の教育の現場では、そこまで達していないということが現実です。</p> <p>また、保護者の皆様がそれを望むかどうかというのもあります。選択制にして、逆にマンモス校に行きたいと、富士見ヶ丘小学校に行きたいという人も出てくるかもしれません。このバランスをどうとっていくか、というところ。自由にしてしまうと、まとまりがないものになってしまうので、ある一定の規則は必要だと思います。そういった選択肢もあってしかるべきだと私は思います。</p>
市民 1	:	<p>これだけ、車が増えている社会ですので、歩いて学校に通学するというのは、時代に合っていないと思うので、積極的に検討をして、取り組んでいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
市長	:	<p>既成概念にとらわれずにやっていきたいと、私は常々思っております。皆さんの理解を頂きながら、取り組んでいきたいと思っております。</p>
教育長	:	<p>選択制というのは、現在、小学校では、実施しておりませんが、中学校については、例えば、部活動の関係で、男子バレー部は谷和原中学校しかありませんので、バレーをやりたいので、市内の中学校から、谷和原中へ、というような選択制が現在も</p>

		<p>あります。</p> <p>しかし、小学校に関してはこの選択制はなく、指定校変更ということで近くに（通学する）ということはあるのですが、選択制というのは、取り入れておりませんので、今後検討していきたいと思っております。</p>
市民 2	:	<p>統合準備委員会の構成員と、つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会は、これは兼任されている方々がほとんどなんですか、全く別ものなんでしょうか、</p>
適正配置 推進室長	:	<p>まず、適正配置審議会の方は、市内全体の審議をしていただくことから、市内全域の PTA 代表の方であったり、区長をはじめとする地域代表者の方、学校の先生等で構成しているのですが、今回の谷原小学校と十和小学校の統合準備委員会は基本的に、谷和原地区と十和地区の方々に、構成している組織となっております。そのため、より地域の皆様のご意見、学校に通われている保護者の皆様の声を十分反映したような、協議をしていきたいと考えております。</p>
市民 2	:	<p>ありがとうございました。</p>
市長	:	<p>私から谷原小学校を谷和原中学校の用地として有効活用する案について説明させていただきたいことがございます。現在、谷和原中学校では教室不足が発生しています。それに対応するために、谷原小学校を谷和原中学校として有効活用できないか、様々な角度から検証したのですが、2つ候補として、1つは谷原小学校の空き教室に中学生が入り、一緒に勉強するというような案と、もう1つの案は、統合することにより谷原小学校が十和小学校に移転したと想定すれば、そこを中学校にできるのではないかとという2つの案を検証をしたのですが、校舎は近くにはありますが、同じカリキュラムで、休み時間の中で、先生方の移動、生徒の移動等を考えますと、難しいという結論に至りましたので、谷原小学校は、現状のまま小学校として使い、谷和原中学校は仮設のプレハブを建てるというような現状に至っております。</p>
適正配置 推進室長	:	<p>事務局からスクールバスについてご説明させていただきます。現在、統合した伊奈小学校、伊奈東小学校ではスクールバスを運営しております。スクールバスに関しましても、要綱がございます。通学距離が2.5 km以上の場合は、スクールバスに乗ることができるという原則で運営しておりますが、2.5 km以内の児童は全く乗れないのかということではございません。通学に関して、交通上危険がある場合、または防犯上例えば、通学が1人になってしまう場合等は、スクールバスに乗って学校に通学しているお子さんもいらっしゃいますので、谷原小学校、十和小学校の統合後の通学体制に関しましても、これからの統合準備委員会、検討部会で十分ご意見をお聞かせいただき、通学体制を整えたいと考えております。よろしく願いいたします。</p>
市民 4	:	<p>私は、十和小学校に6年間通わせていただきまして、やはり十和小学校の名前がなくなるのはすごく寂しいので、できるかぎり十和小学校を有効活用していただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p>

## 8 閉会

以上